

かわさき区の宝物シート

宝物No.
10-17

かわさきだいしへいけんじ
川崎大師平間寺



写真提供：川崎大師

エリア	大師地区	シーズン	通年
	大師周辺	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区大師町4-48
問い合わせ	川崎大師平間寺
TEL	044-266-3420
FAX	044-277-8163
E-mail	
URL	http://www.kawasakidaishi.com/ (川崎大師平間寺)
交通	京急大師線川崎大師駅より徒歩8分



基礎情報

- 大治3年(1128)建立。厄除けをはじめ、家内安全、交通安全などの御利益で有名な寺院。正式には『真言宗智山派 大本山金剛山金乗院平間寺』といい、「川崎大師」または「厄除弘法大師」として、昔から篤い信仰を集めている。
- 本尊は厄除弘法大師像。
- 初詣参拝者数は全国上位を誇り、さまざまな年中行事で賑わっている。

由来・エピソード

- 尾張の国の住人、平間兼乗（ひらまかねのり）は無実の罪で故郷を追われ、川崎で漁獵を生業として貧しい暮らしをしていた。兼乗が厄年のある夜、夢枕に立った高僧のお告げにより、海の中から弘法大師像を引き揚げ、小庵を建て、これを祀り、供養したといわれている。その後、高野山の高僧尊賢（そんけん）上人が、諸国遊化の途中に兼乗のもとに立ち寄った。尊賢上人は、この像の尊さと像とのいきさつの不思議さを感じ入り、兼乗とともに大治3年(1128)に寺を建立。兼乗の姓である「平間」にちなみ平間寺と名付けた。開基は尊賢上人である。
- 本尊が厄除けのご利益で知られるのは、兼乗の夢枕に立った高僧が、「これを供養して、功德を諸人に及ぼさば、汝が災厄変じて福德となり、諸願もまた満足すべし」と告げたことによる。兼乗は厄年にも大厄にあわなかっただけでなく、後に無実の罪が晴れ、無事に国へ帰ることができた。
- もともとは地域の人々の信仰に支えられた寺であったが、近世に入り厄除けの靈験があるととして諸国にその名が伝わり、江戸中期には庶民から武士階級にまで信仰が広まった。そして11代将軍徳川家斉が公式参拝したこと、さらに人気が高まった。
- 総本山は京都東山七条にある智積院。

補足・その他

- 年間行事
 【1月】元朝大護摩供／初大師 【2月】節分会・豆まき式／星まつり／涅槃会／福德稲荷大祭・牛まつり／聖徳太子年祭 【3月】御影供まつり 【4月】花まつり週間／ご供茶式（裏千家家元勤仕）／清瀧権現年祭／大般若経転読会 【5月】川崎大師子どもフェスタ／御本尊弘法大師降誕奉祝会／春大祭／救世観音年祭／まり塚まつり／二箇大法要／ご献茶式（宗徧流家元勤仕）／川崎大師薪能 【6月】興教大師降誕会 【7月】産業安全・災害絶滅大祈禱会／川崎大師風鈴市 【9月】稚児大師年祭／秋大祭／遍路大師年祭／二箇大法要 【10月】茶笥供養／ご供茶式（江戸千家家元勤仕） 【11月】七五三祝子育祈禱月間／密戯流・遍照講川崎大師奉詠大会／薬師如来・十二神将年祭 【12月】成道会／陀羅尼会／納め大師／除夜法楽 など

関連シート

- (10-13)川崎大師仲見世通り
- (10-18)六字名号碑
- (10-19)弘法大師への道(道標)
- (10-20)川崎大師風鈴市
- (10-21)川崎大師薪能